

# 『風は南から』

令和5年度 校長室便り  
(11月17日)(第17号)



## 自分以外の人も大切にする

11月11日(土)は奄美群島復帰70周年記念式典に参加し、14日(火)は芸術鑑賞会で知覧特攻隊に関する演劇を鑑賞して、戦争について考えざるをえませんでした。私の母方の祖父は戦没者で、会ったことはありません。祖母は、27才の時に戦争未亡人となり、戦後の厳しい状況下で二人の娘を育てました。祖母からは、祖父の乗っていた食料船がフィリピンの近くで撃沈されたと聞きました。演劇の最後で、主人公の今日子が柳川さんと天国で出会えたシーンを見て、祖母もきつと天国で祖父に出会えたのではないかと思います。涙が止まりませんでした。ウクライナとロシア、イスラエルとハマスをはじめ、世界では今でも戦争が起きているのです。どうすれば戦争のない平和な世界が実現できるのでしょうか。難しいですね。西本願寺門主の大谷光淳氏は、「世の中のあらゆるものがつながりを持って存在している。それに気づかずに、自分の考える正義だけが絶対だと信じ、それを貫こうとするから争いは起こる。まずは、自分以外の人を自分と同じように大切にすることが重要であり、身近なところでの意識の持ち方、その積み重ねの上に本当の平和は実現できる」と言っています。まずは、背景を正しく理解し、想像力を働かせて、相手のことを思いやることから始めてみようと思いました。

## 11月13日 学科朝会(普通科)



11月13日(月)は学科朝会があり、普通科の会に参加しました。今回は、1年生が文理選択の時期で、2年生は進路の学部学科を考える時期であることから、それぞれの学年から出された質問に上級生が答えるという形式で行われました。

に進むと夢をあきらめてしまう可能性が高いため、数学の苦手を克服する方法についてアドバイスがありました。まず何もしなければ苦勞すること、理系に進むと数学の負担が増えるため、家で効率よく予習・復習をすること、分からない問題は先生や友達に尋ねること等、3人の上級生が今行っていることを話してくれま



まず、1年生から「理系に進みたいが数学が苦手であり、どうしたらよいか」という質問に対して、文系に大学に進学するのか」という質問に対して、好きな歴史を研究できる大学を選んだこと、自分の得意な数学を研究したいから理学部を選択したこと、今の自分が勝負できる大学の中から進路を選択したこと等、3年生3名が自分の体験を語ってくれました。最後に、3学年主任の中村先生から、文理選択、学部学科選択のどちらにしても、自分から動かないと決まらないこと、進路選択の幅を拡げるためにも、できるだけ時間をかけて勉強すること、そして、2年生の終わる頃までには、志望先を決めてその志望理由をしつかり言葉で説明できるようになることが大切だという話がありました。有意義な会でした。

## 「奄美群島日本復帰70周年記念式典」に参加して

11月11日(土)奄美市名瀬の奄美川商ホールで行われた奄美群島日本復帰70周年記念式典に参加しました。式典では、奄美高校郷土芸能部の8月踊り、当時の復帰運動集会などを記録した写真のスライドショーの上映、奄美市長や国土交通省大臣、県知事等の祝辞と続きまして。そして、アトラクションでは、「未来へのメッセージ」というステージがあり、それぞれの島の当時の苦難を振り返る語り部から、中高生がインタビューをした映像が流れました。沖永良部島からは、今井ひなた(2-1)さん、勝男凌久(1-1)さん、通村祐人(2-2)さんが、竿田富夫さんから話を聞いている映像が流れました。そして、会場に代表で参加していた勝男さんが、竿田さんの話を聞いて、一日一日を大切に過ごそうと訴えました。



その後、それぞれの島の唄者が、ご当地の島唄や歌謡曲を歌い、会場を盛り上げてくれました。改めて、勝男さんに参加した感想を尋ねると、「戦争は2度と起こしてはならないこと、理不尽なことに対しては、行動を起こせば現状を変えられることを学びました」と話してくれました。

## 11月14日 芸術鑑賞会



11月14日の午後から、知名町のあしびの郷にて、知名中と合同で芸術鑑賞会を開催しました。今年度は、NPO法人劇団道化による演目「知覧・青春～アイ・アム・ヒア!」を鑑賞しました。知覧特攻隊にまつわる話で、戦後中学校の英語教師となり自立した女性として生きた今日子の91年の人生を通して、人間の滑稽さ、素晴らしさ、そして戦争の悲惨について考える、笑いあり涙ありの青春物語でした。サプライズで沖高の先生方や生徒の出演もあり、最後まで大変盛り上がりました。

## 8年連続 全国大会出場決定!



11月11日・12日の2日間にかけて行われた第18回鹿児島県高文連郷土芸能発表会に出場したエイサー部が、最優秀賞を受賞し、8年連続全国大会に出場することが決定しました。プレッシャーのかかる中、本当に努力の賜物です。おめでとうございます。(写真は、「知名町生涯学習フェスタ」より)

## 高文連 第7回弁論大会 第2位

10月25日(水)に行われた県の弁論大会に出場した三島結佳(1-2)さんが、第2位に入賞し、12月8・9日に大分県で行われる九州大会に出場することになりました。さらに、来年度行われる全国大会への出場も決まっています。おめでとうございます。三島さんは「先輩の後なのでプレッシャーです」と語ってくれましたが、必ず健闘してくれると思います。ぜひ頑張ってきてください。